



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
 AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION
 OF Y'S MEN'S CLUBS
 CHARTERED 1979

C/O Tochigi YMCA
 2-7-42 Matsubara
 Utsunomiya 320-0041
 JAPAN

THE Y'S MEN'S CLUB OF UTSUNOMIYA

2023年9月1日
 第529号

2023～2024 主題
 国際会長 ウルリック・ラウリドセン
 “Let Your Light Shine”
 「輝かそう、あなたの光を」
 アジア太平洋地域会長 利根川恵子（川越）
 “Be the light for change” 「変革のための光となろう」
 東日本区理事 山田公平（宇都宮） 「未来のために今、学びと気づきを！
 未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う！」
 ※北東部部長 大久保知宏（宇都宮） 「クラブのミッションを育てよう」
 ※宇都宮クラブ会長 大久保知宏 「ユースと共に活動する一年に」

会長	大久保知宏
直前会長	中込ひろみ
副会長	松本 法判
副会長	遠谷 雅博
会計	座間 裕二
書記	遠谷 雅博
ブリテン	中村 俊幸
担当主事	濱塚 牧人

宇都宮ワイズメンズクラブ9月報

新年度が始まり、三か月目に入りました。このブリテンがお手元に届くころには北東部大会が開催されているかと思えます。今年の北東部大会は、福島市でのワイズメンクラブ設立を目指して、福島駅前のコラッセ福島を会場として、福島市で子どものケアを行っている団体のメンバーを招いて実施いたします。

《大久保》

＜9月プログラム＞

日時： 9月12日（火）18:30～
 会場： トライ東

開会天鐘	司会進行 山田
ワイズソング	大久保会長
聖句朗読	全 員
会長挨拶	司会者
参加者紹介	大久保会長
タイ料理	司会者
日本料理	中込純さん
個人アピール	大久保会長
ハッピーバースデー&ドライブ	
YMCA ニュース	濱塚担当主事
書記報告	遠谷メン
閉会挨拶	松本副会長

参加費：メン・メネット 4,000円

§ 今月の聖句 §

求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。だれでも、求める者は受け、探す者は見つけ、門をたたく者には開かれる。
 マタイによる福音書7章7～8節

- 9月の予定**

 - 2日(土)北東部大会
 - 12日(火)第一例会 18:30～ トライ東
 - 26日(火)第二例会 19:00～ Zoom 例会

10月の予定

 - 10日(火)第一例会 18:30～
 - 22日(日)チャリテラン
 - 24日(火)第二例会 19:00～ Zoom 例会

☆今月のHAPPY BIRTH DAY☆

該当者なし

8月例会		出席率 48%		BF	切手	震災支援	シゲドラ
在籍者	27名	広義会員	名	先月	kg		¥34,000
例会出席	12名	メネット	2名	累計	kg		¥0
メイキャップ	1名	ゲスト	1名	Y3	名		

《8月第1例会報告》

日時：2023年8月10日（木）18:30～

場所：ホテルニューイタヤ

参加者（敬称略）

メンバー：大久保、中込、松本、座間、粕田、塚田

本多、中澤、安井、山田、濱塚、遠谷 12名

メネット：山田、中澤 2名

ゲスト：佐藤

- ◆開会天鐘 会長
- ◆ワイズソング 一同
- ◆聖句朗読 司会
- ◆会長挨拶 大久保会長

秋田のかんとう祭り、ねぶた祭り、仙台の七夕祭りに参加。ねぶた祭りは広い会場で整然としており渋滞がなかった。帰りの混雑もない快適な祭りであった。仙台では仙台YMCAのメネットが行っている平和七夕飾りを拝見、アーケード近くにある。オリオン通りの飾りなどを通して宮祭りにワイズも参加できるとよいのではと感じた。

9/2（土）北東部大会が福島にて開催される。ホストクラブは宇都宮で、実行委員長は座間メン、コラッセ福島にて会費 8,000 円で行うので是非参加してほしい。テーマは福島でYMCAそして支えるワイズメンズクラブを！という思いで行う。生活の不便を解消するキッズケアパーク福島というボランティアがあり、福島第一原発からは離れているが、県内にはホットスポットが多数あり安心して遊べる場所が少ないと感じている保護者が一定程度いる。そこで同ボランティアは屋内で遊ぶ場所を提供し学生のボランティアと協働で運営されている。まさにYMCAの活動に準じている団体である。この活動を知らしめるためには認知が必要と感じ、北東部大会でとりあげることにした。宇都宮からはサンタ de ランの活動を報告してもらう予定です。

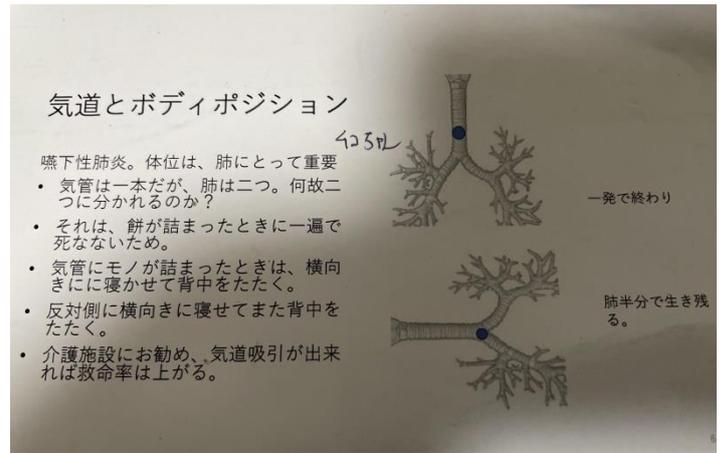
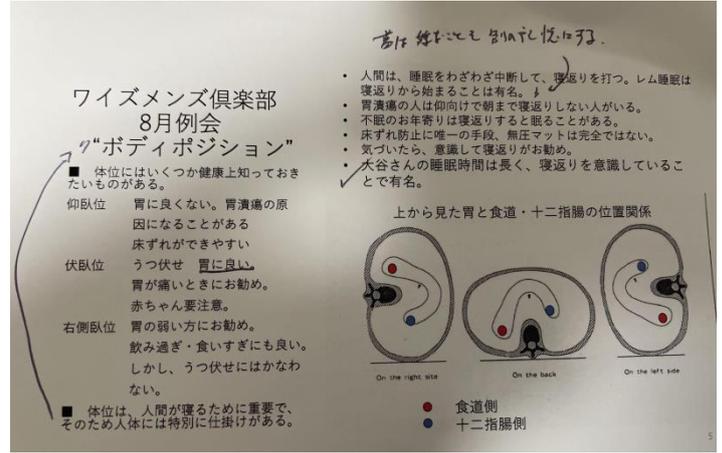
- ◆歓談
- ◆キックオフ例会

ユースとどんな活動ができるのか？について論議。一人ひとりが自分の時間で参加できるようにする。それをクラブで共有する。学生が就職活動にあたって面接の取組み方などを教示するなど、ワイズメンの本業の専門性を活かした協働ができるようになるとよい。

◆中澤ドクターの卓話

ボディポジションについて

からだが想定以上にうまくできている。胃潰瘍の人はあおむけで朝まで寝がえりしないことがある。また、膵炎の方はあおむけで寝れない。詳細は写真をご参照願います。



◆つぼみの活動について

YMCAスタッフ川口さんよりご説明。年間の寄付金は現在50万円。つぼみは2019年に9人の高校生にて発足し、高校生ボランティアから発展。2022年度はトライ東にて高校2年生を中心に活動を行っている。本当に苦しんでいる人を少しでも多く集客する為につぼみ食堂の周知に力をいれていた。具体的にはポスターの掲示やレディオベリーのラジオ番組参加、宮っ子フェスタの参加など。2023年度はYMCAスタッフは川口さん1名体制で高校生ボランティアは昨年度40名から20名の登録になっており、アクティブに参加している高校生ボランティアは10名という状況。今後はアフターコロナを意識して場の提供を行っていきたくサンタ de ランなどとの協働活動も行っていく予定。

◆シゲドラ

12,500円

◆オークション

お酒やタイの紅茶など多くの献品を頂戴しシゲドラと併せて34,000円の成果となりました。

《8月 第2例会報告》

日時：8月22日（火）19：00～ Zoomにて
参加者：大久保、中込、松本、座間、山田、中村、
濱塚、遠谷 8名

◆9月第1例会について

9月12日（火）18:30～

場所：トライ東

参加費：メン・メネット4,000円

① ログラム

・タイ料理（中込メネット）VS 日本料理（大久保会長）
・レシピも公開予定です。

◆9月第2例会について

9月26日（火）19：00～ZOOMにて

◆ブリテンについて（締切8/30（木）、発送9/4（月）
（予定））

巻頭原稿：大久保会長

第1例会議事録は遠谷

第2例会議事録は遠谷

夏の思い出として座間会計に依頼（宮祭り参加体験記）

国際関係報告は山田理事

YMCA ニュースは濱塚担当主事

なお、AYCは10月例会にて報告頂くこととするほか、
ユースコンボケーションも同様とします。

◆9月20日（土）北東部大会

現在の参加状況を確認いたしました。宇都宮クラブからは7名の参加予定です。

◆YMCA 関連のイベントについて

①9/9（土）9時からプール解体作業があり、ワイズメンズクラブとしてドリンクサービスを行う。

② 10/7（土）さくらんぼ幼稚園にて運動会がある。

③ 10/22（日）チャリティーランがある。

④ 11/3（金）バザーがある。

◆ファンドレイジングについて

オークションで人気の高かった中込直前会長提供のタイのお茶をファンドに使えるか検討。十勝のじやがいものや甲府の社員マスカットのように独自のファンドレイジングのアイデアを募集いたします。

《タイ料理について》 -中込 純-

2023/9/12に、皆さんに食べていただくタイ料理について紹介します。

1. トム・ヤム・クン

タイ料理の中でもっともよく知られている料理の一つで、世界三大スープの一つとされています。唐辛子による辛味、マナオによる酸味、レモングラスやコブミカンの葉などによる香りが特徴的なスープです。

当日のトムヤムクンには、ココナッツミルクを使用します。

日本人好みの、味付けがマイルドであり、見た目も乳濁しているスープになっています。

尚、料理名はタイ語で、トムは「煮る」、ヤムは「和える」、クンは「エビ」を意味します。

エビの代わりに、鶏肉（トム・ヤム・ガイ）、魚肉（トム・ヤム・プラー）等も使われます。

2. パット・バイガパオ

辛いタイ料理が苦手な日本人の訪タイされた方にも、この料理は抵抗なく受け入れられています。

日本人に一番人気のある料理と言ってもよいでしょう。

タイ語のパットは「炒める」、バイガパオは「バジルの葉」、バジルの葉で炒めた料理です。

当日は、豚の挽肉（ムーサップ）を使用しますので、料理名は、パット・バイカパオ・ムーサップとなります。豚の挽肉の代わりに、鶏肉、牛肉などの肉類、あるいは魚介類なども使用されます。

給仕される際には、白いご飯に、目玉焼き（ガイダーオ）が添えられます。

3. トート・マン・クン

タイ料理は辛いと言われていますが、この料理は全く辛くないタイ料理です。

タイ語のトートは「揚げる」、マンは「油」、クンは「エビ」を意味します。

エビのすり身にパン粉をつけて揚げた料理です。

エビの代わりに魚のすり身で作るトート・マン・プラーも、同様にして作られます。

タイ料理の名前の特徴は、材料と調理方法で料理名を表しています。

タイ語がわかると、どんな料理かすぐに解ると言えます。

当日は、皆さんにタイ料理を楽しんでいただけるように、精いっぱい頑張ります。

《北海道部会に参加して》 -山田公平-

東日本区にある7つの部会が8月から11月までに行われます。その最初の部会は北海道部会で、北見市で行われました。理事として参加してきましたので、その雰囲気や感じたことなど紹介します。

北海道には3クラブだけで、部会には22人（全体の約半数）が参加しました。他にも区から山田と鈴木会計、富士山部からも3名が参加しました。小さい部会であり、お互い良く知っている関係でした。それでも昨年、札幌北クラブが概算し、人数は減少傾向が続いています。会員の高齢化も進んでいます。そんな中でも今年度（2024年6月）の東日本区大会は、北海道の十勝（帯広地域）で行われます。広大な土地を利用した農業（酪農）が目立つ地域です。日本の最北地、北海道でも今回の訪問中の高温で、クーラーなど使わない学校などは、途中で下校させるということが起きていました。

来年の大会には是非とも宇都宮クラブからも多くの参加者が出ることを期待しています。

《YMCA便り》

《さくらんぼだより》

7月20,21日年長組は森林公園に宿泊保育に行ってきました。年長さんにとって一大行事である宿泊保育をコロナ禍では行えず、久しぶりの宿泊保育！今まで行きたくても行くことができなかったお兄さんお姉さんたちの思いを背負って元気に出発！！

すいか割り、プール、レクリエーション、サイクリング、キャンプファイヤー、山登り、スタンプラリーと盛り沢山の2日間を過ごしました。天気が心配される場面もありましたが、みんなの思いが届きすべての行事を楽しく行うことができました。キャンプファイヤーでは火の精に会うことができ段々暗くなっていく空の元で楽しく歌って踊って貴重な時間を過ごすことができました。スタンプラリーでは友だちと協力してゴールを目指し仲間との絆が更に深まりました。不安そうな表情で登園した子ども帰る頃には「楽しかった♪」とキラキラの笑顔に変わっていました。

大好きなお父さん、お母さんと離れて初めてのお泊りをした子ども多かったと思います。この2日間でたくさんのお話を吸収し大きく成長できました。温かく見守ってくださった保護者の皆様、ご理解、ご協力ありがとうございました。

年長うめ組担任 牛山 愛



《YMCA ニュース》

とちぎ YMCA ではこの夏も子どもたちの全人

的成長を願い、サマープログラムを計画しました。今年度も参加者の皆様、ご家族の皆様にはより一層のご理解とご協力をいただきました。みなさまのお力添えに心より御礼申し上げます。私たちは障がいのある子どもたちを応援しています。

YMCA のキャンプは、「為すことによって学ぶ (Learning by doing)」を理念とした野外教育活動です。その理念は、「どのような教育的な経験も、子ども (対象者) の興味・関心から離れていたならば、その経験は子ども (対象者) にとって本質的なものにならない。よって興味と自発性に基づいて子どもを導く」という考え方に導かれたものです。子どもたちは、友だちやリーダーと一緒に自然の中でさまざまな活動をするによって、人間関係を学び、自然・社会への関心を深めていきます。YMCA では、子どもたちが安全に、安心して、たくさんの自然に触れながら、仲間と一緒に思いっきり遊ぶことを通して、一人ひとりの豊かな成長を育みます。

今年のサマープログラムはお子様にとって、どのような思い出となったのでしょうか。きっとお子様が感じる思い出と、ご家族が感じる思い出はまた違ったものになっていることと思います。

私たちとちぎ YMCA のサマープログラムの体験は、ご参加されたみなさまとご家族に、日々生活を送っていく中でじわじわと体験の効果が届いていくことを大切にしています。

YMCA のキャンプの目的は「自然と他者 (ヒト) と自分」が密接にかかわっていく中で達成されていくもので、まさしく他者を触媒として自我を自覚していくものです。

私たち YMCA での体験がこれからのお子様の成長の糧となり、時間をかけて実っていただけたら幸いです。ウィンタープログラムもどうぞよろしくおねがいます。



栃木県シルバー大学の川柳クラブ OB
《佐藤隆久メン川柳コーナー》
『 無礼講 信じて飛んだ 左遷の地 』